

アーツ前橋特別館長及び館長が決定しました

アーツ前橋が開館してから10周年を迎える年の令和5年5月1日付で、前橋市文化芸術戦略顧問として委嘱している南條史生氏がアーツ前橋特別館長に兼任するとともに、出原均氏が館長に就任します。

1 特別館長

■氏名 南條 史生（なんじょう ふみお）

■略歴

1972年慶應義塾大学経済学部、1977年文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。国際交流基金等を経て、2002年より森美術館立ち上げに参画、2006年11月から2019年まで館長、2020年より特別顧問。1990年代末よりヴェニスビエンナーレ日本館を皮切りに、台北ビエンナーレ、横浜トリエンナーレ、シンガポールビエンナーレ、茨城県北芸術祭、ホノルルビエンナーレ、北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs等の国際展で総合ディレクターを歴任。著書として「アートを生きる」（角川書店、2012年）等。

■特別館長就任のメッセージ

「アーツ前橋の再生にあたって」

アーツ前橋の組織、これまでのシステム、運営の考え方などを精査し、改良・改善し、前橋が誇る美術館として再出発させて、そのイメージを刷新したいと考えています。そのためには、今後の運営は地域性と国際性、歴史と革新、創造性とラーニング、街とアートのバランスを取り、その可能性を最大限に広げていきたいと思いをします。

また、この再出発を記念して、美術館のみならず前橋の町の中に広く展開する記念展覧会を実施し、アートが街と共にあり、人々の生活と共に発展することを体現する展覧会として、10周年の幕を開けたいと思いをします。皆さまよろしくお願いをいたします。

2 館長

■氏名 出原 均（ではら ひとし）

■略歴

1986年広島大学地域研究科修士課程修了。2005年まで広島市現代美術館（86～89年は開設準備室）に、2007年から2022年まで兵庫県立美術館に勤務。広島市現代美術館学芸員・学芸係長、兵庫県立美術館学芸課長等を歴任。

■館長就任のメッセージ

この度、アーツ前橋にご招聘いただきまして、山本市長と、ご推挙いただきました南條特別館長に厚くお礼申し上げます。私はこれまでアーツ前橋には6回伺いました。市民の目線に立つところなど、とてもよいところのある館でした。

しかし、今回、改善すべきところを改善し、新たなページを開くことになりましたので、私の2つの美術館での経験を役立てることができればと就任させていただきました。南條特別館長のもと、美術館が十全に機能し、さらなる発展を遂げるよう尽力したいと考えております。

担 当 文化国際課 アーツ前橋

電 話 027-230-1145（内線 89-201）